

保育計画(新規事業計画)成果報告書

法人名等	株式会社 HOME
施設名	保育園みのおのうちに
報告者（役職）	山本 理華子（園長）
住所・連絡先	大阪府箕面市船場西2-2-1 ニューエリモビル2階
	☎ 072-735-7029
	E-mail home@mx7.alpha-web.ne.jp

○タイトル（保育計画）

積木から広がるあそび

○主な助成備品

白木積み木、カプラ、ラキュー、ロンディ

1. 保育計画策定の目的

本園は2018年にビルの2階に乳児19名の小規模保育園として開園しました。その後、最寄りの鉄道の延伸計画により様々な開発が進み、駅からのアクセスが良くなる、住居等も増えるなど周辺環境に変化が見られました。その変化に合わせる、利用者の方のニーズに応える、ために、また私たち保育者が就学前まで子どもたちの育ちを見守りたい、という思いから2023年度より40名の保育園として新たなスタートを迎えました。

0歳児から2歳児の乳児はこれまでの小規模保育園と同様に、各クラス少人数で子どもたちにとって「おうち」と同じような温かい関わりの保育を継続し、3歳児から5歳児の新設した幼児クラスは20名程度の縦割り1クラスとしました。異年齢で過ごすことで年齢による育ちだけでなく月齢の近い子ども同士が遊びと生活を通して関わりが深くなることによる育ちへの期待があります。幼児クラスが増設となり、より豊富な量の積み木（白木やカプラ）、ラキュー、ロンディのある中で子どもたちが「やりたい」「作ってみたい」気持ちを十分に発揮し、友だちと協力して一つのものを作ったり、何かに見立てたりしながら満足感、達成感を持って遊んでほしいとの思いから計画しました。

2. 具体的な実施内容

【みんなでバス作り】

秋の遠足で万博記念公園へバスとモノレールに乗って行きました。以前から乗り物が大好きだった子どもたちは、バスに乗り込むと運転手のアナウンスや車内の様子、運転席からの景色に興味津々で「こんなの作ってみたい！」という子どもたちの声がありました。



早速、遊びの中で白木の積み木でバス作りが始まりました。写真や絵本を参考に、バスのラインの色をカラー積み木で表現します。「みんなが乗れるくらいの大きなバスにしようよ！」と友だちと協力して大きなバスはあっという間に完成！

ラキューで作ったつり革



「ほかにも看板（行先表示）もあったね！」「大きなワイパーもあったよ」「(路線の)地図！描いたの。これも貼ろうよ」「運転手さんのハンドル、大きかったね」「つり革もいるよ～」と子どもたちからいろいろな“作りたいもの”が出てきて、バス作りがますます盛り上がっていきます。「どうやって作ろうか～」と子どもたちがアイデアを出し合って、ワイパーやつり革はラキューで、表示やハンドルは段ボールや新聞紙で、それぞれ作り始めました。必要なものを揃え、お客さんが座れるように部屋にある椅子を並べ、帽子をかぶった運転手さんが「お乗りください」「千里中央駅ゆき～」「ドアにご注意ください！」とアナウンスを始めるとお客さんが乗りにやってきました。

バスとバス停



バス停



積木で積む工程を楽しみ、完成させた達成感を味わうと、さらに次から次へと遊びが広がっていきます。

1人がバスを待っていると、「バスを待つところがあるよ。」と今度はバスの近くに白木の積み木とカプラを組み合わせるバス停作り！バス停ができると、ちゃんとお客さんが並んでバスを待ち始めました。

太陽の塔

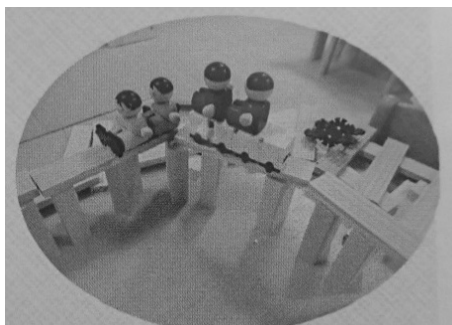


ロンディで作った太陽の塔の顔



楽しかった遠足を再現したくて、バスの到着場所は『万博記念公園』になり、次は万博記念公園の再現が始まりました。積み木で太陽の塔を積み上げて、カプラで電車やモノレールの線路ができると、ラキューやロンディでできた電車やモノレールを走らせます。ラキューが得意な子は観覧車にもチャレンジしました。きれいなお花畑を思い出した子はラキューでたくさんお花を作って飾り、部屋には万博記念公園の世界が広がりました。

万博記念公園



3. その成果と評価

これらの玩具は以前から遊びに取り入れていましたが、届いた積み木やラキューを目にした子どもたちはキラキラと目を輝かせ、「早く遊びたい！」とみんなで部屋へ嬉しそうに運ぶ姿がありました。

以前は使いたい色のラキューが無くなると、作ったものを片付けなければいけない状況でしたが、作りたいものを意欲的に作ったり、大きな作品も数を心配せずに作れるようになりました。積み木に関しては、大きなものを作りながら、自分だけの家などを作りたい子どもたちの場所も確保できたり、バスで遊びながら、バス停や太陽の塔など大きなものをさらに作り、規模を広げていくことができました。

4. 今後の課題と展望

3歳児8名で始まった幼児クラスも、今は子どもたち18名まで増えました。成長と共に様々な体験をする中で創造力や想像性が広がり、経験や絵本を通じた遊びが広がっていくと思います。積み木やラキュー、ロンディなどの玩具はとてもシンプルな作りですが、子どもたちのイメージで様々なものに変化していきます。子どもたちの「やりたい!」「作ってみたい!」と自ら選択し、夢中で遊び込み、友だちと相談し、協力し合う姿を保育士は見守りながら、非認知能力を育んでいきたいと思っています。

以上